

所属・役職・氏名: 広島県立総合技術研究所畜産技術センター飼養技術研究部・主任研究員・城田圭子

連絡先 : TEL: 0824-74-0331 、E-mail: k-shirota89962@pref.hiroshima.jp

提案事項: 地域資源飼料を活用した発酵TMRの効率的給与体系の確立

<提案内容>

・提案技術の概要: 広島県ではWCS用稲「たちすずか」の普及により、WCS用稲の生産利用が急速に拡大している。TMRセンターを核とした、「たちすずか」WCSの生産・利用のシステムが構築され、地域資源飼料である「たちすずか」を活用した発酵TMRが酪農家へ供給されている。「たちすずか」発酵TMRの供給で低コスト化、高品質化が可能となり、生産の安定化に寄与しているが、従来からの課題として、泌乳初期のTMR摂取量をスムーズに増加できる給与体系が求められている。そこで、「たちすずか」発酵TMRの分娩後の給与レベルや採食行動などを適正化し、泌乳初期における給与体系の効率化を図る。あわせて、SGS(ソフトグレインサイレージ)の乳牛への利用技術も実証する。

・想定される地域: 中国四国

・対象品目: 酪農(乳牛・飼料生産)

<研究シーズの内容>

・「たちすずか」などを活用した発酵TMRの調製・給与技術

<実証研究の内容>

・泌乳初期の第一胃発酵を安定維持し、「たちすずか」発酵TMRをスムーズに増給できる給与体系を確立し普及する。

現時点で生産現場等での実証研究(別紙のSTEP2)が可能か: はい ・ いいえ

いいえの場合、研究室やラボレベルの研究(別紙のSTEP1)があと何年程度必要か: 〇年程度

期待される効果

・TMRの利用拡大 年間供給量約10900t⇒14000t、販売額39800千円→504000千円

・「たちすずか」WCS栽培面積約430ha⇒470ha 販売額150500千円→164500千円

想定する研究期間: 3年

研究期間の概算研究経費
10000千円

(うち研究実証施設・大型機械の試
作に係る経費 千円)

コメント

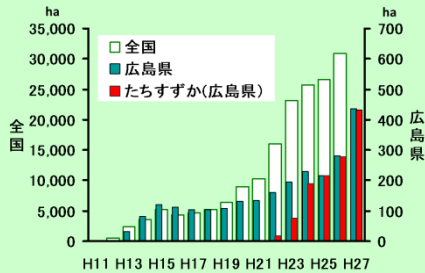
地域資源飼料を活用した発酵TMRの効率的給与体系の確立

WCS供給

TMR供給

集落営農法人

「たちすずか」WCS生産



WCS用イネ作付面積の推移



TMRセンター

「たちすずか」発酵TMR製造・供給

※20~40日発酵して供給



「たちすずか」発酵TMR

	供給前	供給後
利用農家戸数	38	46
供給量(t/月)	731	869

「たちすずか」発酵TMRの供給以降、
利用農家戸数、供給量が増加

収穫作業の受託

酪農家

「たちすずか」発酵TMR利用



TMR利用により、

- 飼料コスト低減 ○
- 生産の安定化 ○

さらに求められること

**泌乳初期の
摂取量の増加**

泌乳初期における「たちすずか」発酵TMRの摂取量増加に効果的な調製・給与体系の確立と普及

生産性向上、TMR利用拡大、「たちすずか」WCS生産拡大